学校番号	T3024

平成 31 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅰ	2	３年次	ECHO English Expression　Ⅰ（三友社）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰ・英語表現Ⅰ（２年次）で学んだ内容をもとに、より多くの英語表現の知識を広げるための授業である。そのため、自分が発信したい情報を簡潔に整理し、表現する言語活動を多く行う。

・会話に頻繁に用いられるフレーズを学習する。

・音読の際、相手に意味が正確に伝わるような発音を心がけるよう練習する。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【３年次】履修科目：「英語表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・自分のことや身の回りのことを、メモを参考にしながら簡単に説明や紹介をすることができる。 ・事前に準備した上で、日常的な事柄について正しい表現を用いて質問したり応答したりすることができる。	スピーキングテスト	・自分のことや身の回りのことなどの紹介文を書くことができる。 ・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想、要点などを簡単な語や基礎的な表現を用いて書くことができる。	定期考査	・日常的な事柄について、決まった表現でゆっくりと話されれば内容を理解することができる。 ・ゆっくりはっきりと発話される、会話文の内容を理解することができる。	スピーキングテスト	・基礎的な語や表現を使って書かれた紹介文や物語を読み、挿絵や写真を参考にしながら内容を理解することができる。 ・日記文や待ち合わせなどの日常的な内容が書かれたものを読み、内容を理解することができる。	定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10-11 (８時間)	・日本の文化を紹介する手紙 ・日本の文化を紹介するニュース番組	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)	教科書の英語表現を使い、自分の得意なことや好きな季節について話す。	(本単元では設定しない)	
		「外国語表現の能力」			
		・動名詞や不定詞を使って、自分の得意なことや日本の文化のことを表現することができる。	・テキストおよびワークシートを利用し、動名詞や不定詞を使ってどんなことが表現できるのか学習する。	・動名詞や不定詞を正しく使い、物事を表現することができる。	・ワークシートや授業での活動
		「外国語理解の能力」			
		・動名詞や不定詞を使った文章を読んだり聞いたりして、正しく理解することができる。	・テキストやプリントの説問を解く。	・動名詞や不定詞を使った文章を読んだり聞いたりして、正しく理解することができる。	・定期考査の筆記テストやリスニングテストにおいて判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動名詞や不定詞の役割・使い方を正しく理解することができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・動詞の使い分けと、疑問文や否定文を作成できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期考査において、知識が身についているかを判断する。
Lesson 12-14 (10 時間)	・日本のアニメやマンガについての英文雑誌の特集 ・喫煙による健康被害についての新聞記事 ・映画を見た感想を述べる	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとに必要な英語表現をワークシートにメモをし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・これまでに習った英語表現を用いて自分の意見や考えを表現する。	・教科書の題材について、これまでに学習した英語表現を用いて自分の意見や考えをワークシートに書いたり、発表したりする。	・自己表現するための英語表現や、文型を活用して英文を作ることができる。	・ワークシートや授業中の取り組み
		「外国語理解の能力」			
		・新しく学習した文法が用いられた英文を読んだり聞いたりして理解する。	・テキストの設問やプリントを利用し、本文の内容について答える。	・新しく学習した文法が用いられた英文を読んだり聞いたりして理解することができる。	・定期考査において、新しく習った文法を用いた英文を正しく理解することができるかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・分詞や関係代名詞の働きを理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認し、設問に答える。	・分詞や関係代名詞の働きを理解することができる。	・ワークシートや定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 15-17 (15 時間)	・民族固有の言葉が消えていることについてのスピーチ ・日本と韓国の食事マナーの違いについて ・インドネシアと日本の違いについてのプレゼンテーション	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、日本のことや外国のことについて会話をする。	・日本と外国の違いについてワークシートにメモをし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、日本と外国について会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・従属接続詞や比較を用いて、英文を書いたり話したりする。	・日本と外国のマナーや文化の違いを従属接続詞や比較を用いて表現する。	・従属接続詞や比較を用いて、物事を表現することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料とし、同内容を定期考査の筆記テストで表現できるかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・縦続接続詞や比較を用いた英文を読んだり、聞いたりして内容を理解する。	・テキストの設問やリスニング教材を利用し、本文の内容について答える。	・従属接続詞や比較を用いた英文を読んだり、聞いたりして内容を理解することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・従属接続詞や比較の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・従属接続詞や比較の使い方を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 18-19 (15 時間)	・もし、世界が１００人の村だったら ・留学生との交流会にて、環境問題についてのプレゼンテーション	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、仮定法を用いて相手といろいろな会話をする。	・環境問題や世界のことについて調べてワークシートにメモをし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、仮定法を用いて会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察し、その取り組みについて判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・仮定法を用いて世界のことや環境問題について、書いたり話したりする。	・環境問題について調べ、その問題にどんな対策ができるかを考え発表する。	・仮定法を正しく用いて、相手に伝わるように自分の考えなどを表現することができる。	・発表に向けての取り組みや、発表の内容を評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・仮定法が用いられた会話文や本文を読んで、書かれている内容を整理し、理解する。	・テキストの設問やワークシートを利用し、内容について答える。	・仮定法が用いられた会話文や本文を読んで、書かれている内容を整理し、理解することができる。	・ワークシートおよび定期考査の筆記テストにおいて、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法の使い方を理解することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。